



みんなの力でみんなの幸せを

s a w a r a b i

さわらび

2

医学
講話

脳の神経細胞は再生する

◆名古屋大学医学部 名誉教授 小島 清秀

8

特集

さわらび会を支えて頂いている皆さま

2009
vol.435 **7**





医学講話

脳の神経細胞は再生する

名古屋大学医学部名誉教授

小島 清秀

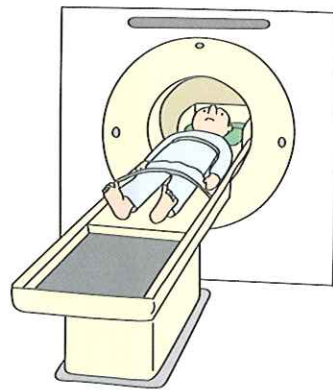
病状を具に観察し、手術もしくは解剖により患部病巣を肉眼的に観察してその変化を記載し、組織標本を作り顕微鏡観察を行い、病因との関連を模索しつつ近代医学が発達してきました。そういった一連の作業結果を纏め上げ、病気の成り立ち方を体系化した学問が病理学と言われる医学分野です。1990年代から現代に至るまで医学生物学領域は急速な発展を遂げました。その中でも中枢神経細胞に関する医学生物学的定



説は参考書の書き直しを迫られている状況です。今回は「脳は再生できるか」という命題に迫ってみたいと思います。

1) 旧来の概念

医学部医学科の教育課程で臨床医学教育に入る前に必ずマスターしなければならぬ過程に、病気の成り立ちや病巣に見られる変化などを知り、当該疾患との関連について概説する病理学を学ぶ必要があります。病理学講義は総論と各論とに分けて講義されます。総論では疾患の理論的裏付けを行い、その後臨床医学に直結する臓器別各論に進みます。これは病気の本態を理解するのに必要だからです。この病理学総論の中



に再生という項目があります。様々な病因により組織の欠損が起きた場合、残存した組織が増生する事により欠損前の状態にかえる現象を言います。組織は生理的な状態であつても細胞単位での新陳代謝が行われているのが原則です。最終分化細胞が老化死滅すると芽細胞が二分して、その一つは芽細胞として残り、他の一つの芽細胞が分化して死滅した分化細胞の占める位置と機能を補うことで生体全体の生理状態を保つていきます。1980年代までに出版された病理学書には再生現象に関し、「神経細胞は芽細胞を全く欠く例外的な組織・細胞系列」であり、老化死滅

2) 幹細胞概念の確立

1980年代後半から1990年代にかけて様々の解析手技が格段と進歩し、細胞の培養法も一段と進歩した結果、細胞生物学分野の研究が加速されました。骨髄細胞を培養して体を構成する様々な細胞に

する病理学を学ぶ必要があります。病理学講義は総論と各論とに分けて講義されます。総論では疾患の理論的裏付けを行い、その後臨床医学に直結する臓器別各論に進みます。これは病気の本態を理解するのに必要だからです。この病理学総論の中



3) 神経細胞再生の事実

哺乳動物の脳には神経細胞(ニューロン)と、ニューロンの機能を支持するアストロサイト(グリア細胞の一種)があり、それらの相互作用により複雑な高次機能を発揮しています。これらの細胞は胎生期の脳に存在する神経幹細胞から産生されます。胎生期の初期から中期にかけて神経幹細胞はニューロンのみを産生

し、胎生後期から生後になって初めてアストロサイトを産生するようになります。ニューロンは細胞分裂を起こさない最終分化細胞であるされていましたが、細胞分裂に先立って起こるDNA合成が見られるところから、ニューロンの先駆細胞(幹細胞)が脳内に存在するとする考え方が研究者に根付いてきました。その後マーカーたんぱく質の検索が進

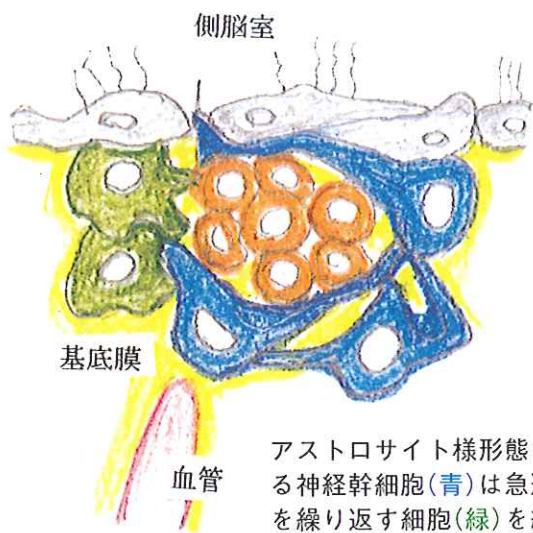
み、これらの幹細胞は成人では側脳室に沿った部位並びに海馬の歯状核周囲に存在することが明らかになってきました。これらの模式図を示しておきます(図参照)。

幹細胞はアストロサイトの形態を取り、必要に応じて増殖しニューロンへと分化します。このような観察結果から成人になっても脳の幹細胞から脱落したニューロンを再生しう

る能力が備わっていることが明確になってきました。特に認知症などに密接な関連を持つ海馬領域に幹細胞が存在し続けていることは脳の高次機能の再生という観点からも興味のあるところ です。

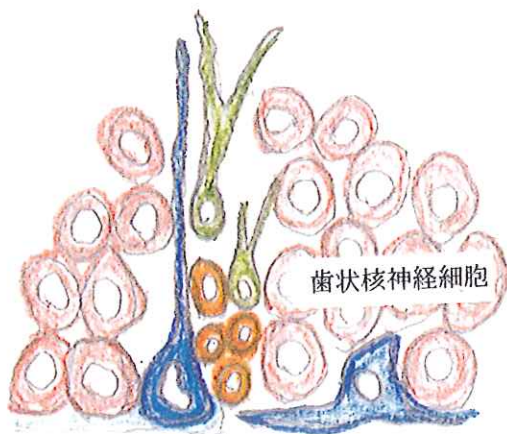
(注) R.A. Inhe & A. Alvarez-Buylla の総説より引用した。
Cell Tissue Res. (2008) 331: 179-191.

●側脳室壁下部の幹細胞



アストロサイト様形態をしている神経幹細胞(青)は急速に分裂を繰り返す細胞(緑)を経て神経母細胞(橙色)になる(注)。

●海馬歯状核部の幹細胞



歯状核を貫くように走行するアストロサイト様幹細胞(青)から神経母細胞に分化(橙色)し、歯状核神経細胞になる(注)。

岡田 秀親

【高病原性新型

インフルエンザウイルス】

メキシコから始まったブタインフルエンザウイルス騒動は死亡者が多いという報道から始まった。死亡者を調べたらインフルエンザウイルス感染者であったことが報道され、初期のニュース報道を読むと致死性が高いウイルス感染を思わせるものだった。死亡しなかった感染者についてはインフルエンザのテストはあまりしていなかったようなので、感染者の内のどれだけの割合の人が死亡したのか定かではなく、感染すると死亡してしまう人が多い様に読み取られてしまった。

死亡率が高いインフルエンザウイ

ルスとしては高病原性インフルエンザとして、H5N1鳥インフルエンザウイルス（感染者の死亡率は60%を超過）がおそれられ、それに対する防疫体制も整備が進んでいたもので、今回のブタインフルエンザウイルスがH5N1鳥インフルエンザウイルスと同じような高病原性ウイルスとして防疫体制が始動した。結果的には死亡率も通常の（季節性の）インフルエンザウイルス感染とあまり変わらない0.2%程度であることがわかり、一安心という状況に落ち着きました。

しかし、高病原性インフルエンザウイルス感染に対する日本の防疫体制が真剣に整備されていたことがわかるとともに、その予行練習にもなったことは幸いな出来事だったと思います。

H5N1亜型の高病原性インフルエンザウイルスに感染した家禽と野生水禽の被害がアジア、中東、ヨーロッパおよびアフリカの61ヶ国に拡がり、14ヶ国では計380余名のヒトがこのウイルスに感染し、6割が死

亡しています。しかし、ヒトからヒトへ直接感染が広がったケースはまだ認められていません。インフルエンザウイルスは8本のRNA遺伝子を持つウイルスですので、異なった亜系のウイルスが同時に感染すると遺伝子が混じり合って異なった遺伝子の組みあわせの新しいウイルスが形成されます。ブタにはヒトのインフルエンザウイルスも鳥のインフルエンザウイルスも感染するので、ブタの中で新型のウイルスができる可能性があります。今回のブタインフルエンザウイルスの場合にも鳥とヒトのウイルスが混じり合ってきた新型ウイルスかも知れないと厚生労働省が恐れたのは理にかなった対応だと理解できます。

このようにして、ヒトからヒトに直接広がる新型の高病原性ウイルスができるのは時間の問題であると厚生労働省は用心をしているわけです。

H5N1鳥インフルエンザウイルスは鶏に感染させると2日で死亡させてしまう毒性を持っています。しか

し、鶏にタミフルを吞ませると死亡率を抑えることができるので、H5N1鳥インフルエンザウイルスにもタミフルは効果を発揮します。したがって、今回実施された防疫体制は充分機能すると期待できます。

一方、ヒトに感染した時の死亡率が60%になるのは、感染すると極めて深刻な全身炎症反応を起こすためです。私どもが開発中の炎症を抑制するペプチドの二つについて、感染鶏での効果をインドネシアで調べてもらいました。その内の一つが、H5N1鳥インフルエンザウイルス感染鶏を救命できることが分かりました。





2009年6月11日講義

「障害児者に対する音楽療法の

実践・音楽療法の基礎

～音楽と発達の関係、音楽療法の効果～

◎講師・療育教室 代表取締役

日本音楽療法学会認定音楽療法士

NPO法人「ほがらか」代表

池田 信子先生

音楽は、私たちの日常生活にある最も身近なツール。障害のある子ども達や高齢者に効果があるだけでなく、人間の発達に効果的に活用することで、乳幼児期からの心理に大きく作用します。今回、子どもの成長と音楽の働きの関係を講演していただきました。普段の生活にある音が、生活の中で生かされていくことが音



●音楽療法について、分かりやすく講義をしていただきました

楽療法です。池田先生は、発達障害（自閉症）である次男の言語療法に付き添われる時に「絵カード」を見せて、物の名前を教えていく勉強に遭遇し、その「絵カード」にリズムをつけたら言葉が出やすくなるのではないだろうかと考えて、療法にリズムを取り入れ始めました。

◎「リトミック」とは、フランスの作曲家エミール・ダルクローズが考案した音楽教育で、音楽にリズム運動を取り入れて、『身体で覚える』事を大事にし、身体を動かすことにより感覚を自分のものにする事です。先生は、『現在は、現実性が強い子、想像性がない子どもが多くなっていると言われます。その想

像性を高めたり、「早い」「遅い」「強い」「弱い」など、言葉ではなかなか伝えきれない部分を身体で感じさせて覚えてもらう為に、「リトミック」はとても有効である」と話されました。

◎「音楽療法」とは、音楽の持つ生理的、社会的働きを用いて、心身の障害の回復、機能障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的、計画的に使用すること（日本音楽療法学会の定義）です。

今回の講義では、内容の中に実際の体験を取り入れて下さいました。やはり障害児者の発達の遅れの段階を支援者が確認するには、今回の講義のように実際に体験すると把握しやすいといわれます。健常者の子どもも含めて、実際にリトミックを行なってみると、行動や学習面で年齢に対してできない面を知ることができます。その「できない」ことを今度は、音楽療法を取り入れて「できる」に変えていく、補っていく為

には、大変有効な手段であることを実際に受講者がやってみることで身体で覚えることができました。

受講生の中で「今回の講義内容を認知症の方の施設ケアの中でも取り入れてゆきたい」と言われた方もおられ、音楽と日常生活動作との関係をととても深く感じる有意義な講義内容でした。

(林)



●実際の体験もふくめた受講風景

入居者同士で支える

◆軽費老人ホーム 若菜荘の取り組み



さわらび会では、高齢者や障害者みなさんの自立や健康を守るために、日々医療と福祉の充実を目指してさまざまな取り組みをしています。若菜荘では『福祉の村でみんな仲良く手を取っていつも明るく若さを保ち健康で幸福な生活を送りましょう』を合言葉に、100人の入居者の方が生活しております。

り、入居者の方に認知症を理解していただくため、掲示板を利用して理解を求めています。

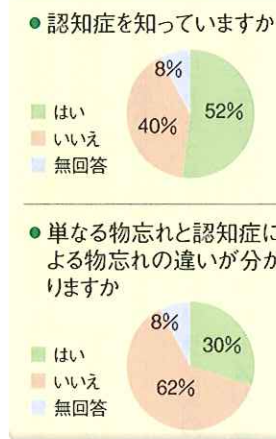


表1 意識調査の結果

入居されている方は、健康状態も様々です。それぞれ自分のできるところで協力しながら生活を送っていますが、年齢と共に認知症の症状が出てきている方もいます。そこで入居者のみなさんに認知症に対する意識調査(※表1)を行ったところ、認知症を知らない方、病気の一つであることが分からない方が多数いました。また、認知症について「病気がうつりそう」「自分分がなったらどうなるの?」「予防法はどうするの?」などの質問があ

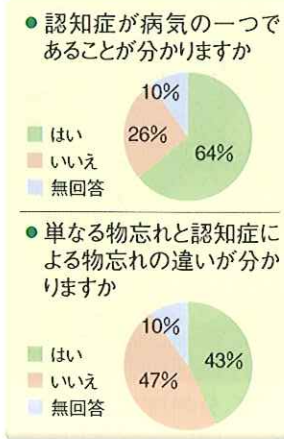


表2 再調査の結果

その後、再調査(※表2)をしたところ「自分がなったらと不安があったが、どう対応したらいいかを考えるようになった」「やさしく接してあげないと、いけないと思った」など少しずつ気持ちに、変化が見えてくるようになりました。

実際に、認知症の方からの問いかけに對しての答え方や表情、怒っている人に対してどういう状態なのかを説明する方など、認知症になってしまった人の気持ちを考えてくれる方も増えてきました。そして、接し方が分からない時には、職員に質問される方も出てきました。また、認知症であっても自治会活動を役員の協力の下、参加される方が見られるようになりました。しかし、まだまだ「付き合いたくない」「関係ない」などの意見もあります。認知症の方とそうでない方との共存生活が続けられるように、認知症への理解に役立つ情報を、入居者の目線で分かるように随時提供して、認知症の方を職員だけで支えるのではなく、入居者同士でも少しずつ支援できるよう実施してゆきたいと思えます。(金子)



●笑顔は認知症予防の1つです

車いすでも楽しく外出を 車いすトイレマップ紹介

第37回全国みなと同名ライオンズクラブ年次大会記念事業の援助を受け「車いすトイレマップ」ができました。

これは「車いすを楽しむ会」の原田昌宏会長が御自身の体験より、車いすをご利用の方にとって外出時の使えるトイレ情報はとても大切であり、その情報がなければ安心して外出できないという思いから作成を思いつき、「車いすを楽しむ会」の皆さまと豊橋みなとライオンズクラブ様の協力で作り上げたものです。A6サイズで持ち運びも便利なのです。皆さま是非ご活用下さい。



お問い合わせ Kファクトリー
0532-52-9039

原田昌宏さんまで

子ども達への
福祉教育普及に向けて
〜稲垣ひとみさんの講演〜

珠藻荘自治会長の稲垣ひとみさんが六月一日、豊橋市の取り組みの一つであるまちづくり出前講座で幸小學校に赴き、五年生のみなさんの前で福祉や障害について話をされました。これまでは、珠藻荘の田中副施設長と二人での講演でしたが今回初めてお一人での講演となりました。子どもたちは事前に授業で福祉について考えてきたそうで、稲垣さんの普段の生活についての質問だけでなく、福祉とは何か、障害者にとつてのより良いまちづくりとは、といったように福祉全体のことについての質問もあり、福祉についてもっと知りたいという子ども達の思いが伝わってきました。

それに対し稲垣さんは「車いすで街に出かけるとお店の前に乱雑に置かれていた自転車があるだけで入れないときがあります。それを整理してくれるだけで、暮らしやすくなり



● 実験を交えて話をされました

ます。そういうことを気にしてくれ、ることだけでも福祉のはじめだと思えますよ。」といったように身近な例を出して分かりやすく、かつ当事者としての思いをしっかりと伝えようとしていたもので、子ども達は、障害者とは、福祉とは、といったことをより深く実感できたのではないのでしょうか。

これからも、稲垣さんはまちづくり出前講座をはじめ、様々な形で障害とは何か？福祉とは何か？について障害当事者としての視点から、子ども達に分かりやすく伝えていきたいとおっしゃっています。(鳥居)

福祉村保育園だより
防災訓練の様子

福祉村保育園では、毎月防災訓練を実施しています。3歳までの小さな子ども達にとつて、自分の身の丈の半分もある頭巾をきちんとかけて、場所にも被って集まるのは、簡単なように見えて、とても難しいことです。

園長先生が、毎回訓練にかかった時間と気付いた所を先生方と確認し、子ども達にも防災訓練の大切さを話します。初めの頃はただ泣いていた子どもも、何度も訓練をしているうちに先生や友達のとをついて集合し、大きな頭巾も自分で被れるようになります。日々の生活の中での、大切な訓練のひとつになっています。



(北風)

夏休み親子福祉体験講座 実施決定!!

大好評!!
7/24 締切

〜福祉を学ぼう、考えよう〜

日ごろ何気なく使っている「福祉」という言葉。今年の夏も、この福祉を考える機会になれば…と夏休み親子福祉体験講座を開催致します。今年は防災への取り組みや福祉車輛の展示も行いますので、ぜひ福祉村までお越し下さい。

日時 平成21年8月8日(土) 午前10時〜
場所 福祉村各施設 (豊橋市野依町)

- 対象** 豊橋市内の小中学生とその保護者
内容
- 福祉ミニ講座
 - 各施設でのふれあい体験
 - 福祉車輛展示
 - 防災への取り組み (展示) など

参加申し込み・問い合わせ先

あかね荘 ☎(0532)48-2825 / ㊟48-2367

さわらび会を支えて 頂いている皆さま



さわらび会においては、様々な形で地域住民の方に関わっていただいております。このような方々と職員がともに協力し合って利用者様の生活を支えていくことが今まさに不可欠となっております。そこで今回は、その中でも特筆すべき関わりをしていただいている方々について紹介させていただきます。

宗教講話

さわらび会の施設のうち、高齢者施設の特別養護老人ホームさわらび荘と軽費老人ホーム若葉荘では、ボランティアの先生により、入居者の方が心を豊かにして生活を送っていただくとともに、「みんなの幸せ」のために宗教講話を行っていただいております。

宗教講話は、山本病院で昭和四十六年十二月に開催された老人学校の一つとして開始されました。

そして、さわらび荘では、昭和五十二年の開所当時よりクラブ活動の一環として宗教講話を行っており、現在では応通寺前住職大河内智見先生に、一か月に一回程さわらび荘に来ていただいております。

若葉荘では、高木元昊先生(前慈恵寺住職)により昭和六十一年十一月から毎月開催され、その後インド福祉村協会理事(医師)である柴田昌雄先生に来ていただき、宗教講話を行っていただいております。(ちなみに福祉村内にある早蕨山瑞恵寺は柴田先

生のご実家より寄贈されたものです。)

さわらび荘での宗教講話の様子は、まず入居者の方々は仏壇の前で先生のお経に合わせて一緒にお経を唱え、最後に皆さんで合掌をしてから、先生の講話が始まります。

内容は一月にはお正月のお話、五月には端午の節句のお話、お盆の時期には、ご先祖様や仏様に関する季節のお話やまた、その時々話題になっていくニュースのお話です。そのようなお話を通して、人が「生きる」ということに関してのお話をさせていただいております。

そもそも私たちが今生きているということは、私たちの父や母が愛情を持って私たちを育ててくれたからです。私たちの父や母への感謝の気持ち、ご先祖様への感謝の気持ちを持つことにつながるのです。

皆さん、先生のお話を真剣に聞き入っておられ、時々、先生の話される冗談に笑顔を浮かべられております。お話が終わったあとは、皆さんよのお話が聞けたと言われつつ、改め

てご先祖様への感謝の気持ちと、「生きる」ことについて考えてみえるようです。

そして、私たちの父や母、ご先祖様への感謝の気持ちを持つこと、そこから、他人に対する思いやりの心を持つことにより、我々が本当に幸せに生きていると感じること、すなわち、人のお役に立って生きていると感じていただくことで、心を豊かにし、穏やかな生活を送っていただいております。

(渡邊)



●さわらび荘での宗教講話

「料理を通じて人との出会い。これが一番の楽しみでした。」

これは豊橋さなえ会様の料理教室

に参加された、さわらび会利用者の方の言葉です。

食を通じたボランティア活動を行う豊橋さなえ会の皆様は、独居高齢者宅への手作り弁当や高齢者、障害者を対象とした料理教室の開催等、幅広い活動をされています。

豊橋さなえ会様とさわらび会の交流は、昭和五十九年にあかね荘の料理講習会をお願いしたことから始まりました。以来、あかね荘だけでなく、明日香や第二さわらび荘での料理教室、若菜荘での餅つき、しろがねでのお菓子作り、文化祭でのぜんざい等、各施設や行事で活動をしていただいています。その間、活動を通して多くの笑顔が生まれました。施設生活の中ではなかなか味わうことのできない家庭的な温かさを、料理の味の中に、そして豊橋さなえ会の皆様との交流の中で感じる事ができます。

既に二十五年近いお付き合いをさせていただいております、豊橋さなえ会の活動はさわらび会にとって欠か

すことのできないものとなっています。

そして、永らくさわらび会を支えてくださっている豊橋さなえ会様は今年の春の叙勲において、日本国政府から褒状（緑綬）が贈られました。これは豊橋さなえ会の皆様の活動を通じた社会福祉貢献活動が認められたものであり、さわらび会一同、心よりお祝い申し上げます。（金森）



● 第2さわらび荘での料理教室

身体障害者の外出を支える ボランティアのみなさま

障害者支援施設珠藻荘の利用者の皆さんにとって外出は大きな楽しみの一つで、ご自分で行きたい所を決

め、外出をされる方もいます。しかし、身体上の障害や車いすを使つての移動ということになることが多いため、どうしてもお一人だけで外出をするには難しい場合があります。

そのようなときは、職員が付き添いますが、利用者様と付き合いのあるボランティアの方が外出を付き添つてくださることがあります。現地で待ち合わせて楽しまれたり、珠藻荘まで来てくださりいっしょに福祉タクシーなどに乗って出かけられることもあります。

また年に一度、名古屋でのゴロバレー大会など施設の行事としての外



● ボランティアの方との外出

出には、肢体不自由者ガイドヘルプ・渋茶倶楽部様にボランティアをお願

いし、ご協力をいただいております。渋茶倶楽部の皆様は、肢体不自由者のガイドヘルプを専門にしており、段差、坂道、濡れた路面などを移動するときも、確実に安全な介助をして下さっています。利用者の皆さんも、渋茶倶楽部の方と安心して外出できます、とおっしゃっています。

障害者自立支援法により、制度の問題で職員の配置が少なくなり、利用者の外出に十分な人数の職員が付き添うことが難しくなっています。しかし、このように渋茶倶楽部の皆様をはじめボランティアの方々のご協力のおかげで外出支援を続けられています。（鳥居）

まとめ

今回ご紹介させていただいたボランティアの方々以外にもさわらび会は多くの皆様によって支えられています。今後も誌面を通して皆様の意見とともにご紹介していきます。（金森）

山本左近



Gain Point! ADAC GT MASTERS

「ホッケンハイムからの躍進」

ADAC GT MASTERS第3戦にて、見事に今期初ポイントを獲得。
確かな躍進が、今はじまる。

ADAC GT MASTERSのレースは二人で一台のマシンを交代で乗るため、マシンのセッティングと、チームメイトとの連携がレースを大きく左右する。

左近選手の参戦が決まったのは4月5日で開幕戦が4月11日だったため、ほとんど調整できないままシーズンに入った。

第一戦のレース1では、ぶっつけ本番のような状態でも12位で完走した。レース経験の浅いチームメイトに合わせたマシンセッティングだったのに、左近選手のマシンを操る技術はまさにF1仕込みの素晴らしいテクニックで、チームのこれからのシーズンに対する不安を吹き飛ばす快走だった。

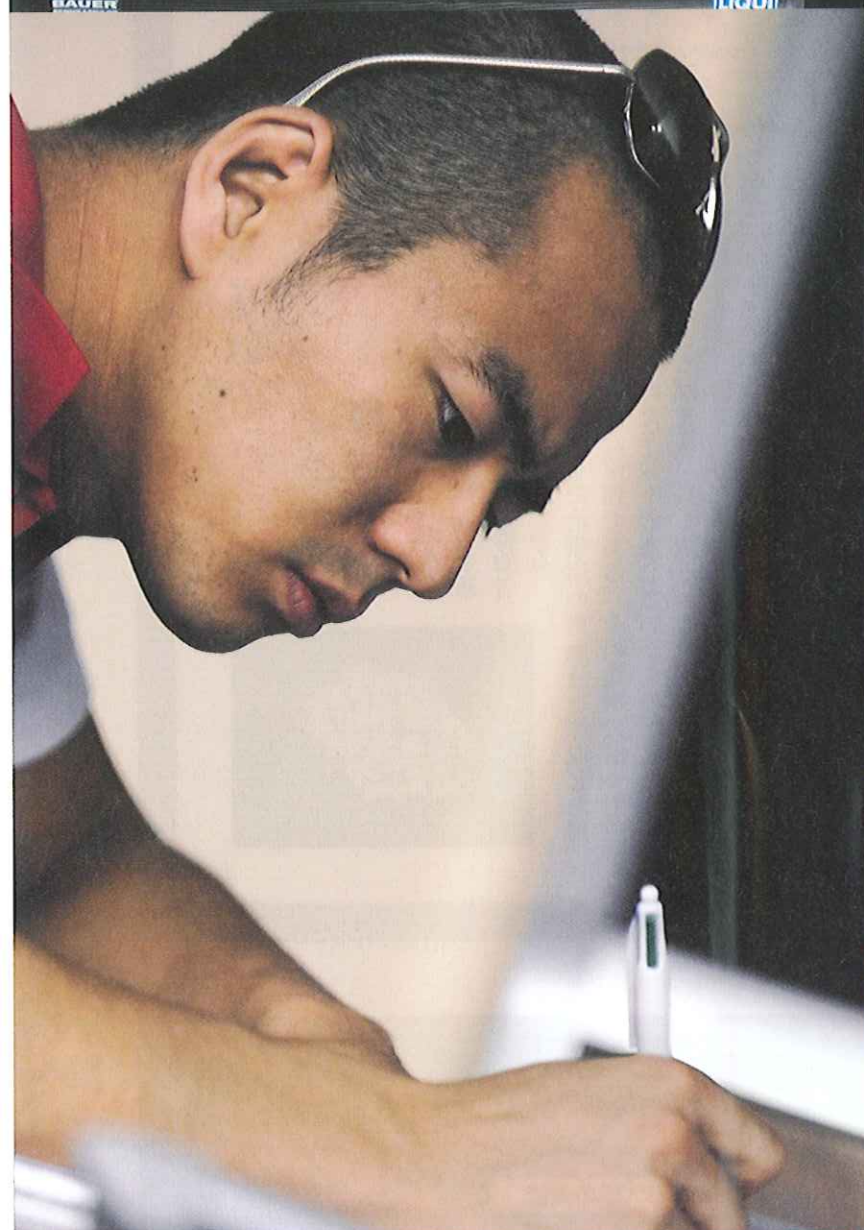
フリー走行でマシンに乗れる時間は半分のため、マシンに乗って慣れたくても時間が足りない。しかし、そんな逆境の中で迎えた第二戦では確実な走りをしつつ順位を上げ、わずかにポイントには届かなかったものの9位フィニッシュを果たした。

そして、6月5日に開幕した第

三戦ホッケンハイム(ドイツ)では、見事に8位入賞、ポイントを獲得した。チームメイトがピットスタートで他のマシンから大きく遅れてスタートし、16番手で左近選手に交代した。ここから左近選手は卓越したマシンコントロールにより次々と前車をパスし、残り5周で必死に抜かれまいとする入賞争いの2台を抜いて、チームに初ポイントをプレゼントした。

レース本番がブラクティスを兼ねているような非常に厳しいシリーズを戦っているが、そんな逆境をものともせず第三戦にしてポイントを獲得したことは、チームとファンにとっては期待通りの素晴らしい結果になった。

今シーズンのGT MASTERSレースでは、初戦12位、第二戦9位、そして今回第三戦ではポイント獲得となる8位入賞など回を重ねるごとに上昇気流に乗っている。ファンの熱い期待に応えるため、いよいよ勢いに乗る左近選手の今後の走りに目が離せない!! (鳥居)



Sakon's News



○ Next GT Masters Race

- 第4戦 • 07/05 Lausitzring
- 第5戦 • 08/23 Nurburgring
- 第6戦 • 09/20 Sachsenring
- 第7戦 • 10/18 Oschersleben

俳句浪漫

直筆の書で 季節を彩る

ジュゲム施設長・東京大学客員研究員
金井 芳之



あじさいの

色うごめきて

梅雨近し

毎週金曜日には私の古巣、東京白金台の研究所に足を運ぶが、門を通過して直ぐの左手に研究所の創始者である北里柴三郎の記念館がある。

明治・大正にかけて活躍した治療用の馬血清を採取した馬屋（厩舎）を復元させた建物である。その建物に沿って十年ほど前に植えられた千数本のあじさいがこの頃になると一斉に花をほころばせる。良く観るとそれぞれが皆違う。特に色彩は千差万別で、白、薄紫、紫、碧、黄色、そしてそれらのモザイク、小さいものから大きなものまで、更には互いの花が寄り添うように集簇しているなど、多種多様である。多分同じ地盤であっても栄養のバランスが微妙に違うためであろう。週替わりに花の大きさ、濃淡が微妙に変化する様は毎朝、通勤で通う多くの人達の間には何の変哲もないあじさいに過ぎないのかもしれないが、小生にはそれらの変化がもうすぐ梅雨入りであることを教えてくれるのである。物の変化は非連続的に観ることによってその新しい側面を窺うことが出来るのである。



あじさい
色うごめきて

梅雨近し



さわらび大学公開講座案内

☆参加費無料でどなたでも受講できます

- 7月 9日(木) 人口動態からみた社会の動きと
社会福祉の動向
講師▶社会福祉法人さわらび会 本部事務局長 藤田 聡一郎
- 7月23日(木) レクリエーション①(仮称)
講師▶豊橋レクリエーション協会 会長 阿部 弘子
- 8月 6日(木) レクリエーション②(仮称)
講師▶豊橋レクリエーション協会 会長 阿部 弘子
- 8月27日(木)
(調整中)

さわらび大学の開催

時間○第2・4木曜日、午後3時～4時
会場○福祉村病院会議室

尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

講義内容へのご意見・ご要望がございましたら、下記までお申し付けください。

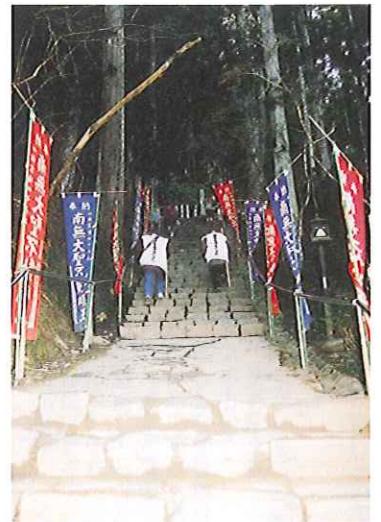
◎お問い合わせ・受講申し込み
軽費老人ホーム若菜荘

☎ (0532)48-1138 ㊚ (0532)48-2365

じかり先生の
“お遍路さん”
 第36回
 四国八十八ヶ所霊場めぐり
 ●奇観、幽すい境
 福祉村病院 副院長 伊莉 弘之

平成十五年
 十二月二十八
 日、四回目の二
 泊三日の巡礼の
 旅が始まった。
 第四十五番海岸
 山岩屋寺さんいわやじに向か
 う。四回目とも
 なるとだいたい要
 領を得ていたつ
 もりだった。

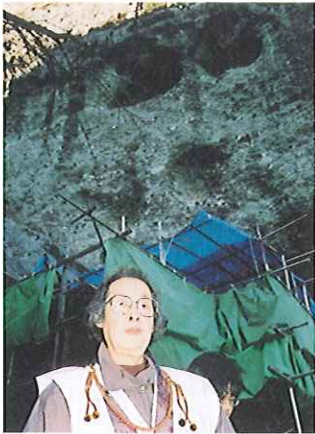
いきなり長い長い坂道だった。山門から本堂
 まで二六六段の石段を登った。両側には老杉の
 巨木が並んで昼間でも暗かった。二十歳過ぎの
 若い男性が頭に鮮やかな黄色のタオルをまいて
 「歩き遍路」の装束で軽快に我々を追い越して
 いった。三十分ほど歩いて本堂に着いた。母と
 家内は疲れた様子だが子どもたちは元気だ。
 本堂はあいにく改修中だった。本堂の後ろに
 は人間の顔を思わせる巨大な奇岩が本堂を押し
 つぶすようにそびえていた。この付近が幽すい



境と言われる所以がわかる。

昔この山中には法華仙人と称する不思議な神
 通力を持った女人が住んでいた。弘法大師がこ
 の地を訪れると法華仙人は大師に深く帰依して
 一山を大師に献じて大往生をとげた。大師は木
 と石の不動明王を刻み、木像は本堂に安置し、
 石像は岩石に埋め込んで山全体を本尊としたと
 いう伝説がある。大師堂の奥の山道を登ると大
 師の行場「逼割せりわり禅定」がある。

「登ってくる途中にあったお店ね、千と千尋の
 神隠しに出てきたようなお店だったね。」と中二
 の娘。「仙人さんは今も生きているみたいだね」
 と小四の娘。実は私は怖かった。理由もなく背



中がゾクゾ
 クした。四
 国巡礼で
 初めての不
 思議な感覚
 だった。

Vol. 18
 relay column
さわらび会
 のわ
 福祉村保育園 保育士
 山本 麻美子

福祉村で保
 育士として働
 き六年、母親
 となって一年
 職場復帰して
 みて仕事をさせ
 てもらえること
 有り難さを日々実感
 しています。

初めはとて不安もありました。通勤時
 間の長さや、子どもがいて働くという事の大
 変さなどで、保育士として働いていたからこ
 そ悩むことが沢山ありました。

しかし、今では子どもが側にいて働くこ
 とが出来た環境が私にとっては何よりも安
 心でき、とても励みになっています。また、
 母親になって初めて初めて女性が働くという
 ことの大変さや、思いが理解できるように
 もなりました。

保育士としても、母親としても、まだ未
 だ未熟な私ですが、仕事と子育てを通して、
 もっともっと成長してゆけたらと思います。
 次回は、あかね荘支援員 高橋奈奈さん
 です。



◆福祉村病院・シユケム

5月18日 施設長会議に理事長出席
 感染対策委員会
 東三河骨髄バンクを支える会」に
 理事長出席
 19日 日総研主催の公開セミナー（東京
 JJホール）にて伊弉弘之副院長
 が「認知症ケアマスター」につい
 て講義
 20日 橋詰先生によるCPC（理事長出
 席）

21日 交通安全教室（若菜荘）
 野依健康教室にて理事長が「酸化
 LDL」について講義
 22日 名古屋市緑保健所主催の認知症う
 つ予防教室にて伊弉弘之副院長が
 「認知症の予防」について講演
 26日 社会福祉法人「さわらび会」理事
 会評議員会に理事長と副理事長出
 席
 27日 医療安全委員会
 朝食情報交換会に理事長出席
 28日 さわらび大学「認知症の介護につ
 いて」特別養護老人ホームさわら
 び荘介護士長柴田竹夫
 豊橋市社会福祉協議会理事会評議
 員会に理事長出席
 29日 名古屋市社会福祉協議会主催の名
 古屋市認知症実践研修会（吹
 上ホール）にて伊弉弘之副院長が
 「認知症の医学的理解」「認知症高
 齢者の生活の捉え方」について講
 義
 30日 日総研主催の公開セミナー（名古
 屋JJホール）にて伊弉弘之副院
 長が「食べない、入浴しない、眠
 らないへの対応」について講義
 早秋編集会議（理事長出席）
 感染対策委員会
 株式会社リブドゥによる「無駄の
 ない紙オムツの正しい使い方」に
 ついての勉強会
 施設長会議に理事長出席
 愛知医科大学にて理事長が「認知
 症」について講義
 シユケム幹部会
 日総研主催の公開セミナー（中央
 大学駿河台記念館）にて伊弉弘之
 副院長が「食べない、入浴しない、

11日 眠らないへの対応」について講義
 さわらび大学「障害児者に対する
 音楽療法の実践・音楽療法の基礎」
 NPO法人ほがらが理事長池田信
 子
 12日 病院幹部会（理事長出席）

◆さわらび荘

5月16日 全国GH協2009フォーラム愛
 知大会（施設長・庄山・鈴木富・
 河盛 名古屋）
 19日 職種別地域ケア会議（松下 つつ
 じが丘）
 29日 GH協東三河ブロック研修会（日
 井有・志村 あいトピア）
 愛介連ケアマネ部会（白井秀 名
 古屋）
 6月4日 ポランティアに望む心構え（施設
 長 豊橋商業高校）
 11日 福祉QC管理者研修（柴田竹 名
 古屋）
 12日 求人説明会（土井 ライフポート
 とよはし）

◆第二さわらび荘・カサデローザ

5月21日 富山県老協見学会
 防災管理者講習（東郷）
 22日 商業女性セミナーにて講義（山本
 施設長）
 25日 市介護相談員見学会
 26日 全老協公正副会長委員長会議（山
 本施設長 東京）
 27日 日本市民生委員見学会
 28日 日本女子大学セミナーにて講義
 （山本施設長 東京）
 6月1日 防災訓練（カサデローザ）
 4日 名古屋保育福祉専門学校校長来荘
 愛老協第一回女性委員会（山本施
 設長 奈良施設長 名古屋）
 8日 認定審査会（長坂 市役所）
 愛知医科大学講義（山本施設長
 長久手）
 愛知県介護支援専門員協会役員会
 （長坂 名古屋）
 9日 全老協協正副会長委員長会議（山
 本施設長 東京）
 10日 全老協協大東運営委員会会議（山
 本施設長 東京）

◆珠藻荘

5月19日 愛知県身体障害者療護施設生活向
 上委員会（石田喜 希全センター）
 屋内消火栓訓練
 善意フェスティバル参加
 6月3日 自治会役員会
 10日 まちづくり出前講座（田中 前芝中
 学校）
 11日 支援センター主催「在宅障害者の
 ための料理教室」（松井伸・小原・
 西井・田中・牧野 あいトピア）

◆若菜荘

5月19日 インド福祉村協合理事会総会（施
 設長 名古屋）
 20日 野依保育園交流会
 26日 誕生会
 27日 管内栄養士研修（宮脇 豊橋市役
 所）
 28日 田原市民生委員見学会
 29日 喫茶なかよし
 30日 県社協高齢福祉連絡部会役員会
 （施設長 名古屋）

◆あかね荘

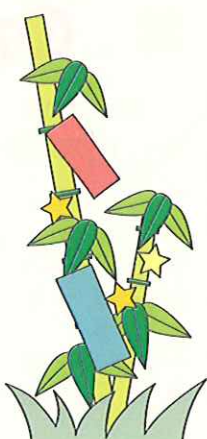
5月17日 絵画教室（鈴木先生）
 19日 いきいきフェスタ企画委員会（村
 越）
 20日 援助会議
 21日 耳鼻科検診
 23日 語りへの会
 31日 善意フェスティバル参加
 6月4日 東海地区委員会（施設長）
 5日 日帰り旅行（掛川花鳥園）
 福祉協会役員会・総会（施設長
 名古屋）

◆しろがね

5月21日 さなえ会おやつ奉仕
 25日 TFM合唱団
 6月2日 さなえ会おやつ奉仕
 8日 TFM合唱団
 11日 介護福祉士実習指導者研修（林
 回診日）

◆各施設共通

5月18日 施設長会議
 21日 交通安全教室（若菜荘）
 25日 法人監事監査
 26日 法人理事会
 6月5日 施設長会議
 10日 栄養士会議
 11日 合同防災会議
 13日 職員親睦ソフトバレー大会



さわらび会後援会寄附ご芳名

平成21年5月15日～6月14日

名古屋市中村区岩上町140	加藤典子氏	10,000円
市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
市内雲谷町ハシゾメ7-9	近藤巨弘氏	60,000円
富山市安住町5-21	富山県老人福祉施設協議会	10,000円
碧南市大浜上町1-36	碧南マツダ 田中梅夫氏	10,000円
市内野依町字西物草12	家具の街ヨコモクランド	10,000円
新城市南畑74	光田屋(株)	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷(株)	5,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9-9	林 昭氏	10,000円
市内萱町30	(株)中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内間屋町15-5	(株)スズケン	10,000円
市内東田町154	濱竹田商店	10,000円
市内東脇三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス(株)	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海(株)	10,000円
市内野依町山中19-14	福祉村病院職員有志	3,000円
市内東新町314	(株)日医工新和	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	20,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。
計 **269,000円**
現在までにご寄附いただきました金額は
826,847,308円

ご寄付は、さわらび会の病院・施設なら、どこでも受け付けております。皆様の御協力をお願い致します。

みんなの力でみんなの幸せ

社会福祉法人

さわらび会後援会からのお願い

さわらび会後援会では、広く社会の善意のある方々に後援会員になっていただき、そのあたたかい浄財をもって福祉村の建設並びに運営していくよう支援しております。皆様方の、ご入会を心からお願い申し上げます。

後援会会長 **神野信郎**

●お問い合わせは 珠藻荘 ☎(0532)47-1050まで

* お礼コーナー ありがとうございます *

※印は豊橋善意銀行を通して

- ▼長坂稔様 ねぎ寄贈※ (明日香、若菜荘、珠藻荘)
- ▼アコム様 「みるコンサート物語」招待券 (明日香)
- ▼岸上剛史様 フロレスチケット招待券※ (明日香)
- ▼宮野豊彦様 いちご寄贈※ (さわらび荘)

インド福祉村協会寄附ご芳名

平成21年5月11日～6月10日

田中久子氏	5,000円	横井 裕氏	5,000円
吉田 晃氏	5,000円	天野桂子氏	5,000円
東海労働金庫	3,400円	山之内国男氏	5,000円
中村義博氏	5,000円	市田純子氏	5,000円
医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏	55,000円	水野善夫氏	5,000円
大竹 裕氏	10,000円	飯田忠宏氏	10,000円
ハーモネット(株)	10,000円	原 幸喜氏	10,000円
市村正也氏	5,000円	藤原輝三氏	5,000円
鈴木静美氏	3,000円	杉浦 直氏	5,000円
永田忠男氏	5,000円	池川明雄氏	5,000円
小柳 広氏	5,000円	出井信行氏	1,000円
神谷信明氏	10,000円	酒井康子氏	3,000円
平尾秀夫氏	10,000円	仲井美由紀氏	55,000円
中西正美氏	5,000円	大谷道子氏	3,000円
長尾好泰氏	5,000円	玉川達雄氏	10,000円
清水 潔氏	5,000円	インド福祉村病院募金箱	8,512円
伴 正敏氏	5,000円	嶋田 智氏	10,000円
高綱健太郎氏	10,000円	竹内照子氏	10,000円
米田徳七郎氏	35,000円	樋口恵子氏	5,000円
清水葉子氏	100,000円	山本孝之氏	5,000円
森みのり氏	5,000円	山本ゆかり氏	5,000円
竹本君代氏	5,000円	岡田孝子氏	5,000円
鈴木令子氏	5,000円	汐満悦郎氏	3,000円
桑原江み氏	5,000円	小林智弘氏	5,000円
大野哲夫氏	5,000円	大坪照美氏	1,000円
山崎則子氏	5,000円	清田武男氏	10,000円
松本義彦氏	5,000円	佐藤富美子氏	5,000円
武田和敏氏	6,000円	寺本松夫氏	1,000円
青山雅子氏	1,000円	山口豊彦氏	5,000円
岩瀬聖子氏	1,000円	武田尚代氏	5,000円

募金方法(インド福祉村)

計 **554,912円**

■振込先 郵便局 ゆうちょ銀行・振替口座

口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会

■連絡先 軽費老人ホーム若菜荘 ☎0532-48-1138まで

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

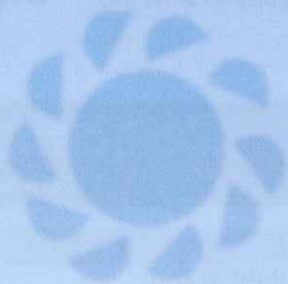
大会運営委員長に就任しました。

- 大会運営委員長(前 女性委員長)

社会福祉法人さわらび会 専務理事 **山本 ゆかり**
(特別養護老人ホーム第二さわらび荘施設長)

さわらび会では山本ゆかり専務理事および 若菜荘施設長武田和敏が全国老協「施設推進委員(軽費ケアハウス)」として活躍しています。

太陽にむかって



さわらび会

2009年7月1日発行 早読 第435号 毎月1日発行
 (昭和62年2月21日第三種郵便物認可)
 編集責任者 江川和雄 印刷 共和印刷株式会社 定価 100円

充実した医療と福祉 みんなの力でみんなの幸せ

社会福祉法人 さわらび会 理事長 山本 孝之
 医療法人

- 特別養護老人ホーム さわらび荘
 ☎(0532) 54-3501
 法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
 ケアハウス カサ デ ローザ
 ☎(0532) 37-1209
- 軽費老人ホーム 若菜荘
 ☎(0532) 48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘
 ☎(0532) 47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘
 ☎(0532) 48-2825
- 福祉村病院
 ☎(0532) 46-7511
- グループホーム白珠
 ☎(0532) 66-0082
- 障害福祉サービス事業所 明日香
 ☎(0532) 46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね
 ☎(0532) 48-1032
- 福祉コンビニ(東雲町)
 ☎(0532) 69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生
 ☎(0532) 38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原
 ☎(0531) 24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム
 ☎(0532) 46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市委託)
 ☎(0531) 45-3828

編集後記

今月号では6Pに「入所者同士で支える」という取り組みを紹介させて頂きました。若菜荘は100人のお年寄りが住む施設でそれ自体が一つの地域社会とも言えます。その中で認知症という見た目ではなかなか解らない病気の方への対応として利用者の皆さん全員が認知症への理解をすすめる、その対応方法についてもみんなで考えて行くという取り組みは大変すばらしいと思います。世間ではまだまだ、いろいろな場面で偏見や差別により社会的弱者が住みにくさを感じているというような事をよく耳にします。

若菜荘の今回の取り組みは「誰もが住みやすい地域社会作り」を考える上でとても大切なポイントだと考えます。皆さんの地域社会でも是非ご参考にして頂ければ幸いです。

(江川)

【表紙絵】「あじさい」 加藤悦代(珠藻荘)